

NAGASE



# 2014年(平成26年)3月期 決算説明会

知恵をビジネスにする技術・情報企業

長瀬産業株式会社  
2014年5月27日

## 目次

- |                   |      |
|-------------------|------|
| 1. 2014年3月期の決算概況  | P.3  |
| 2. 2015年3月期 業績見通し | P.13 |
| 3. 中期経営計画の進捗      | P.18 |
| 4. (参考資料)セグメント別概況 | P.23 |

**2014年3月期の決算概況**

- 円安の影響もあり、営業利益までは増収増益(売上高:前期比569億円増、営業利益:2億円増)
- 前期に固定資産売却益を計上しており、当期純利益は25億円減の116億円

(単位:億円)

	13/03	14/03	増減額	前期比	予想公表値 (2Q修正)	差額	達成率
売上高	6,662	7,232	+569	109%	7,250	△17	100%
売上総利益	825	889	+63	108%	904	△14	98%
<利益率>	12.4%	12.3%	—	△0.1%	12.5%	—	—
販売管理費	670	731	△61	109%	747	△15	98%
営業利益	155	157	+2	101%	157	+0	101%
経常利益	179	179	△0	100%	182	△2	98%
当期純利益	141	116	△25	82%	118	△1	99%
為替レート	@83.3	@100.5	@17.2 円安		@98.2		

(1円あたりの為替変動による売上高および営業利益への影響)

1円のドル円レート変動による影響額

14/03期実績に与えた影響額

売上高 約36億円

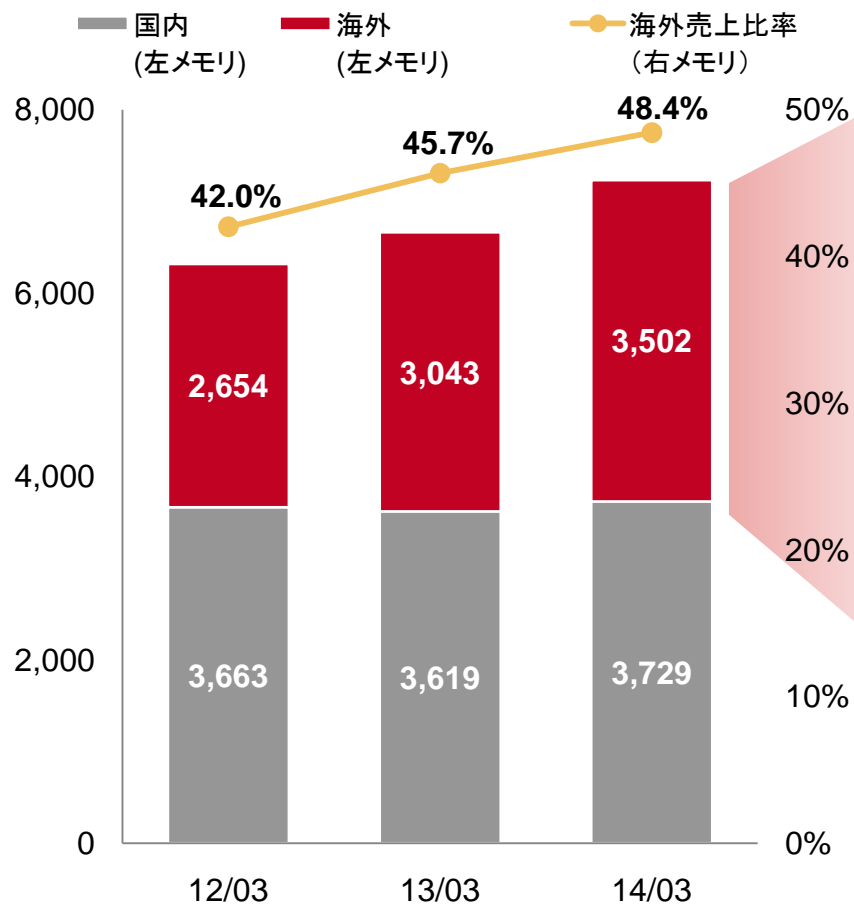
+約629億円

営業利益 約0.8億円

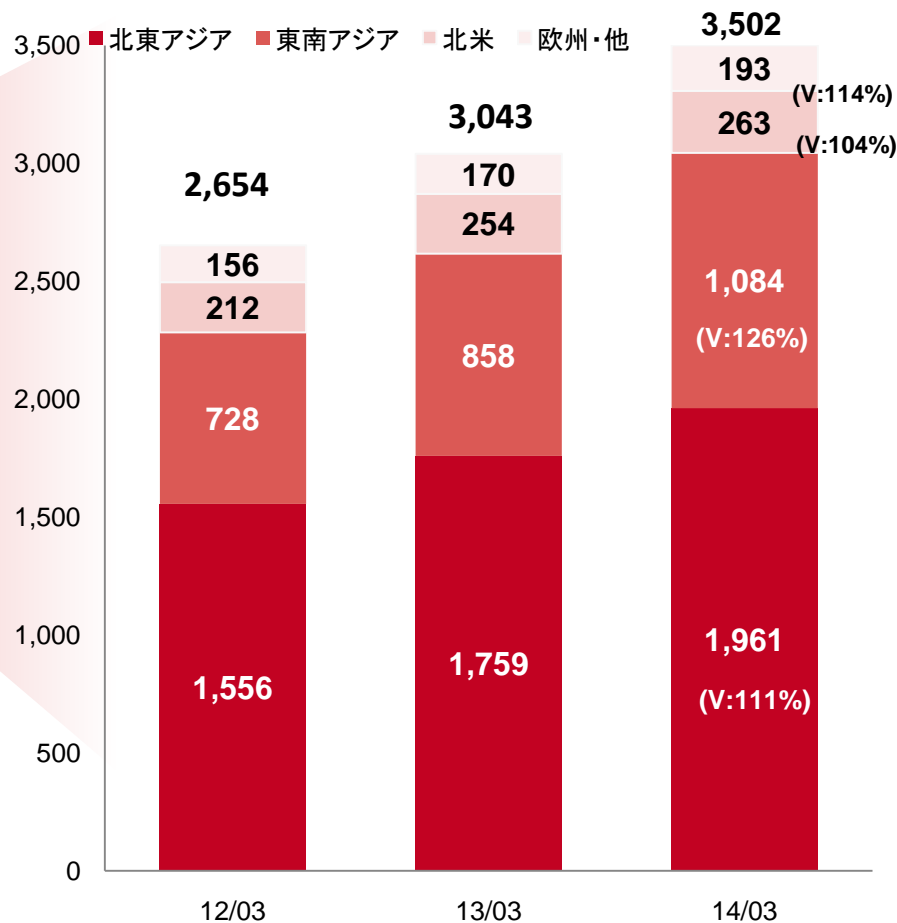
+約15億円

- 円安の影響もあり、全ての地域で売上が増加し、海外売上高比率が上昇
- 特に東南アジアにおいて、OA・家電および自動車関連商材が好調に推移(前期比126%)

### 国内・海外売上高(億円、%)



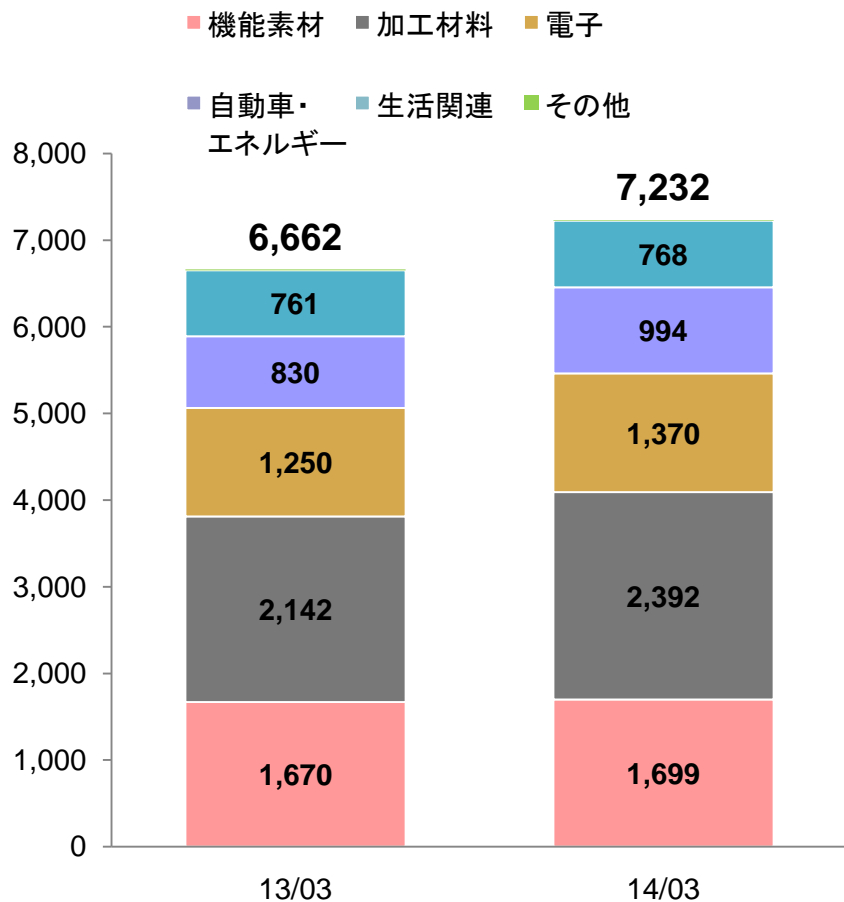
### 海外売上高の地域別内訳(億円)



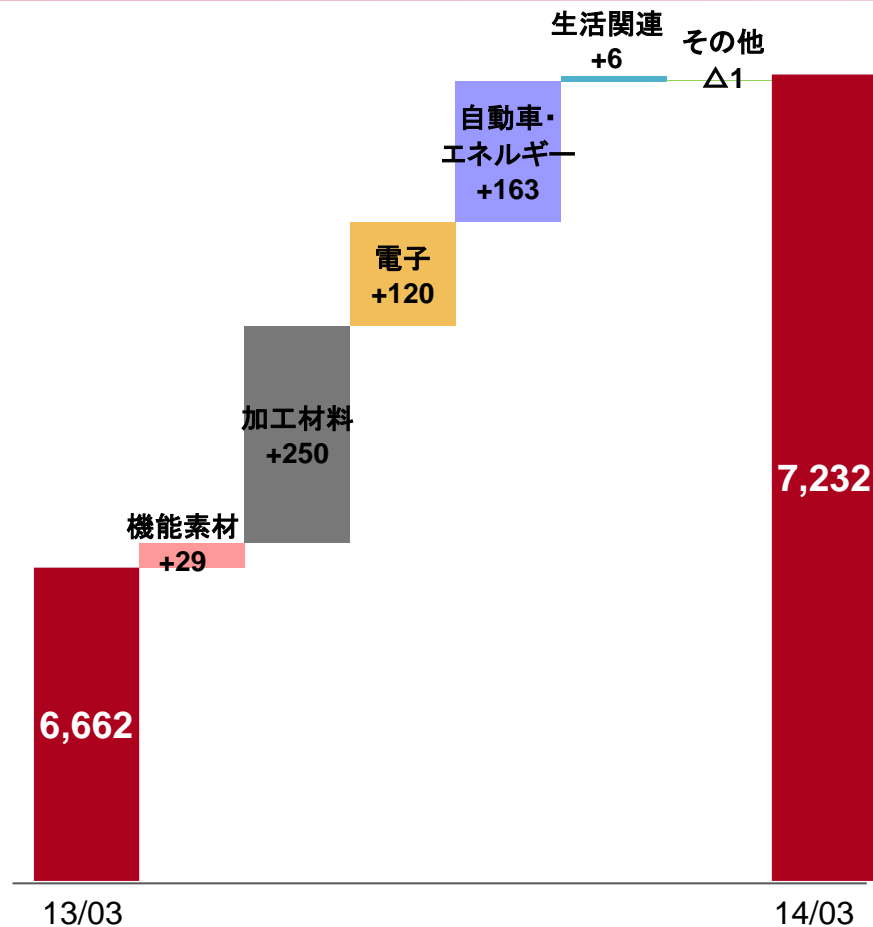
※V:前期比

- 国内外においてOA・家電用途関連事業における合成樹脂販売が好調
- 国内外において自動車生産台数増加に伴い自動車関連部材販売が好調

## セグメント別 売上高(億円)

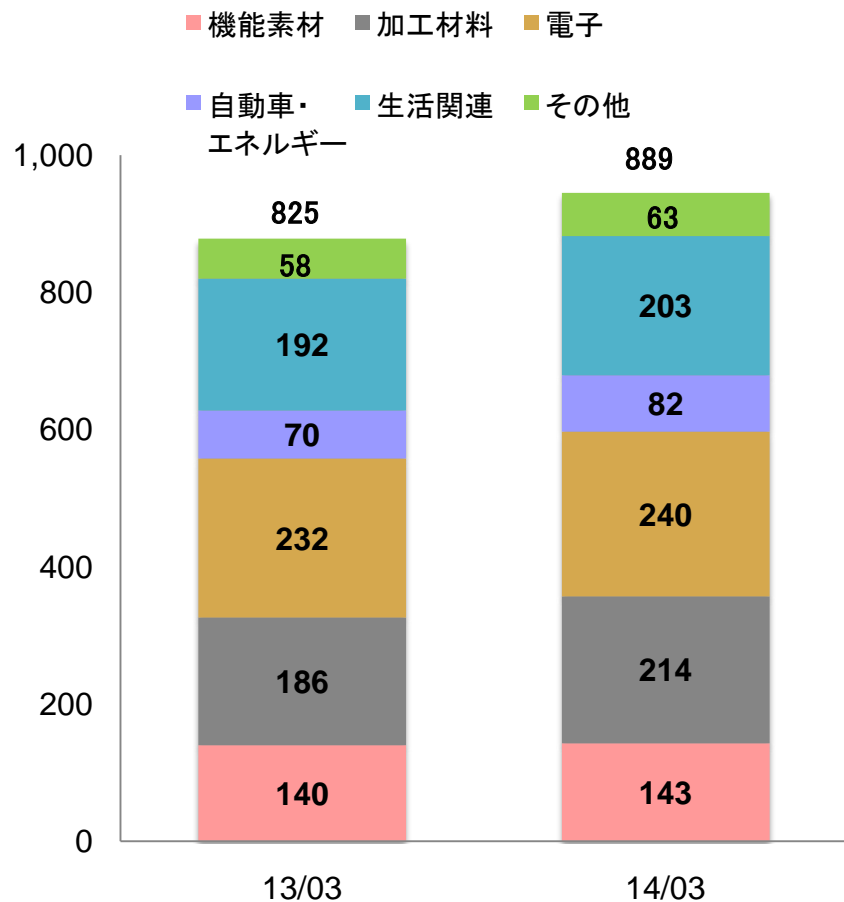


## セグメント別 売上高増減(億円)

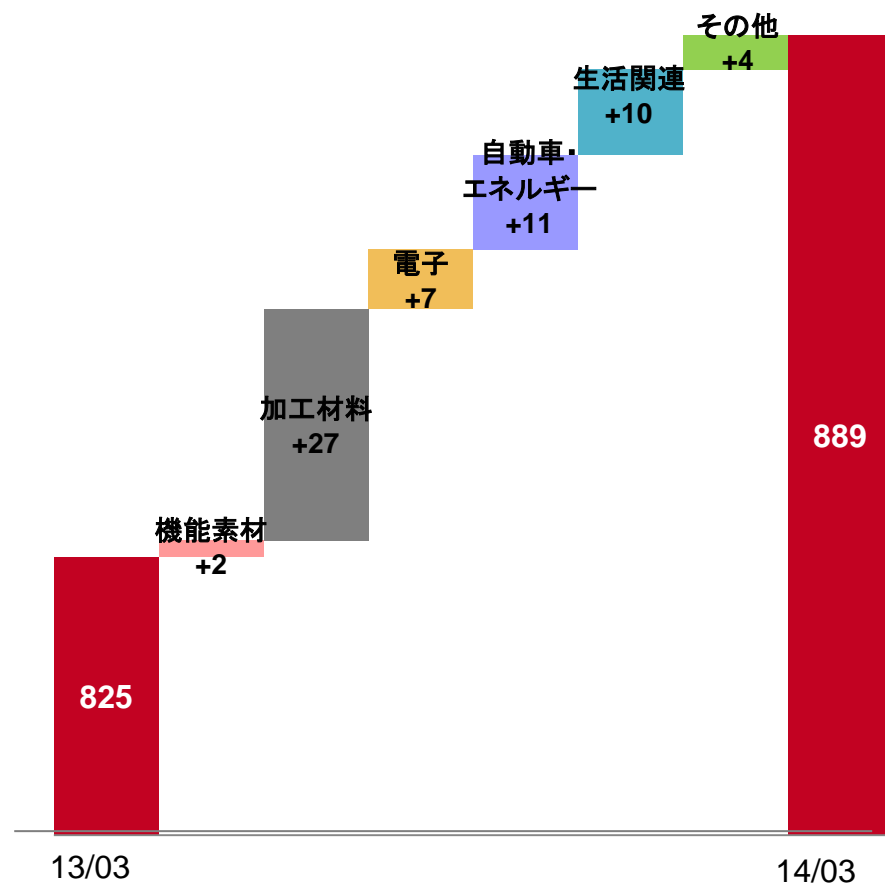


## ■売上の増加に伴い、増益

### セグメント別 売上総利益(億円)

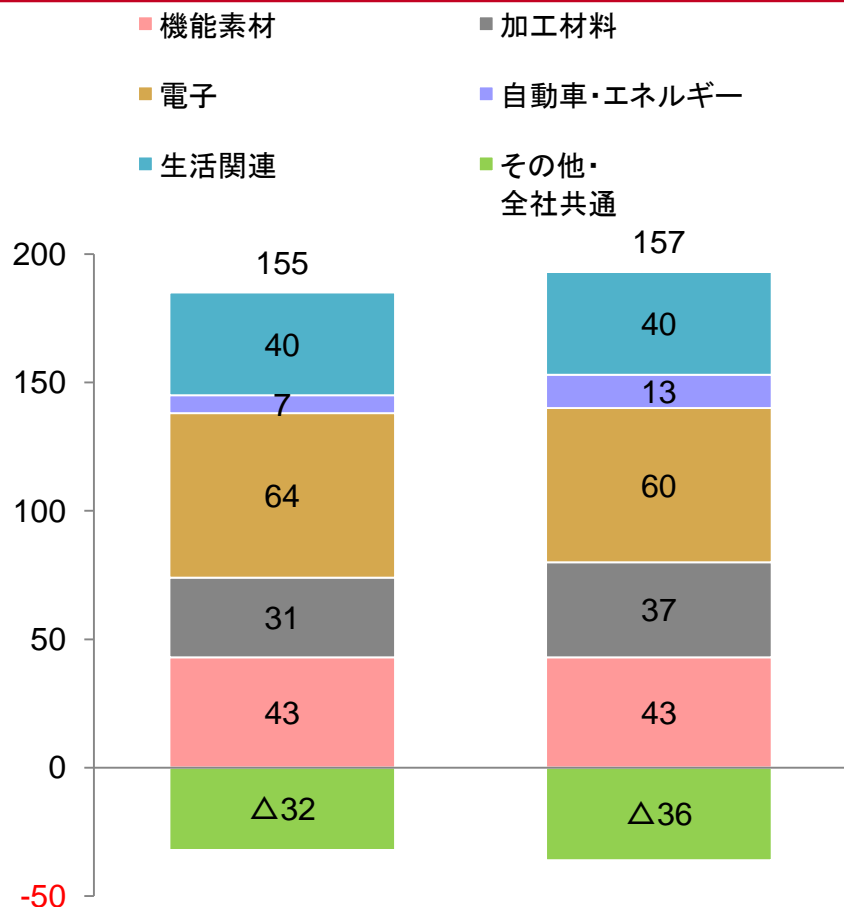


### セグメント別 売上総利益増減(億円)

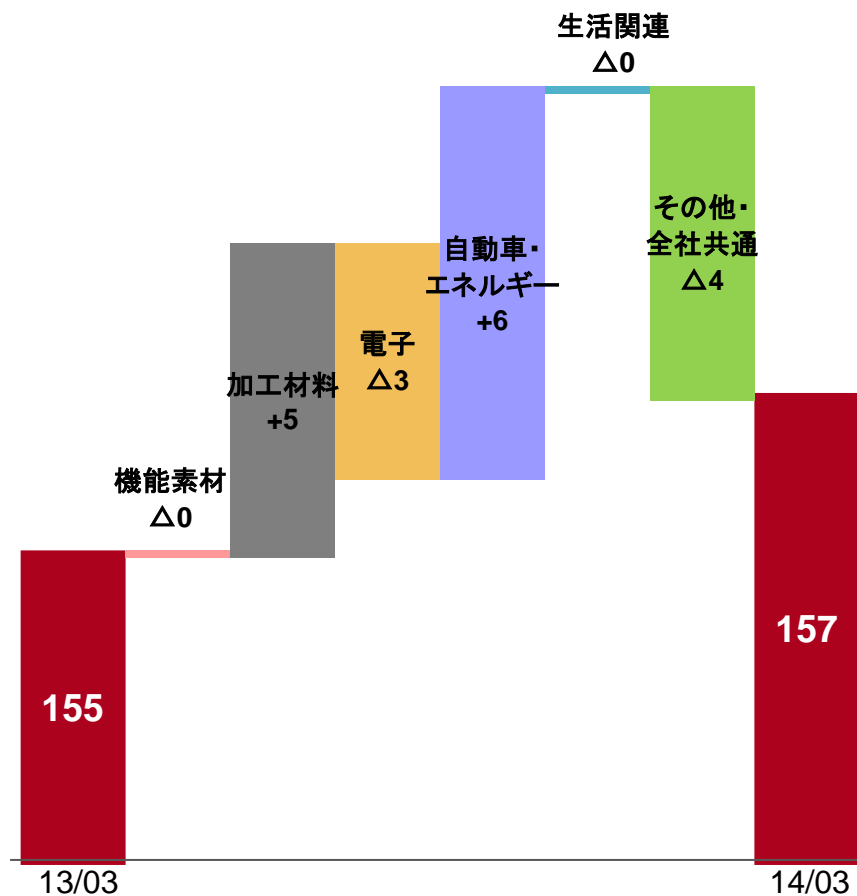


### 退職給付債務の数理計算上の差異の償却に伴う退職給付費用が増加

#### セグメント別 営業利益(億円)



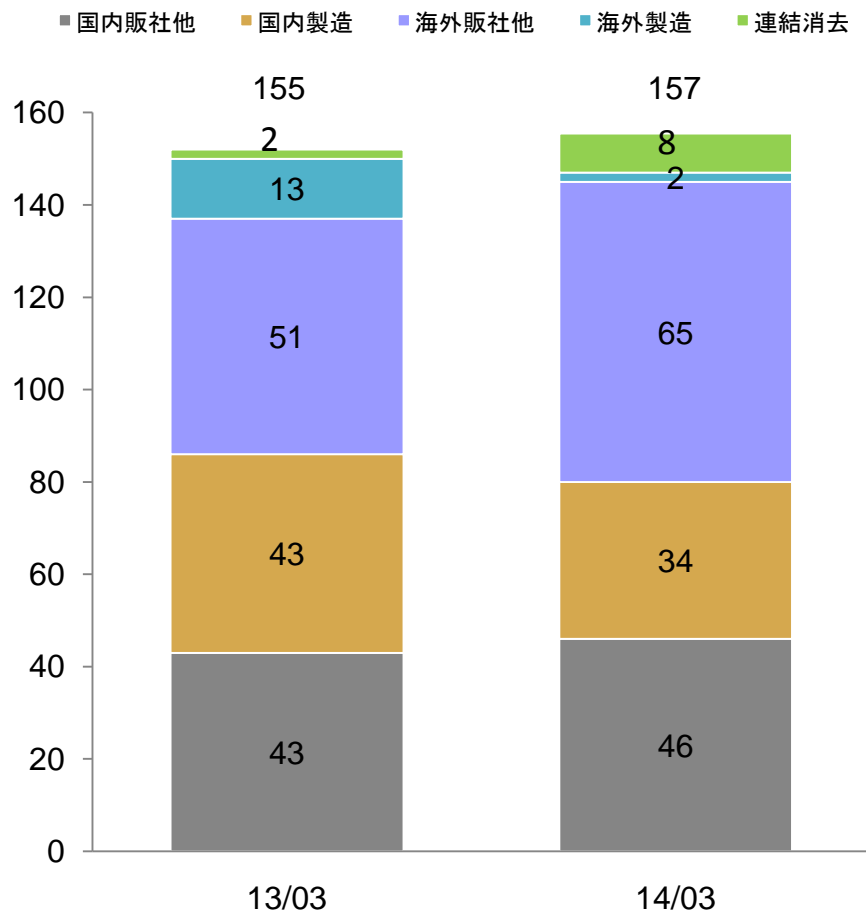
#### セグメント別 営業利益増減(億円)



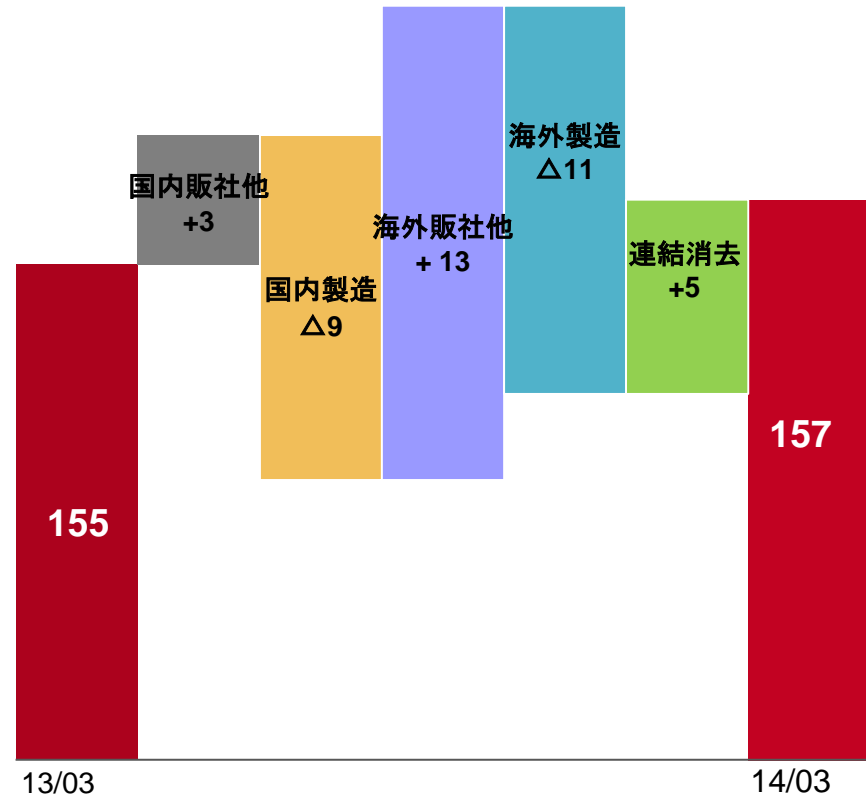


- OA・家電向け樹脂販売や自動車関連部材販売等が好調に推移し、国内外ともに販売会社は増益
- 一部赤字製造会社で収益改善はあったものの、ガラス薄型加工ビジネスの低調等により、製造会社は全体で減益

## 会社形態別営業利益(億円)



## 会社形態別営業利益増減(億円)



- 林原は不採算品の終売やグループ内商流変更等もあり減収となっているが、トレハロースなど機能性糖質の売上は国内外ともに順調に増加。システム導入などガバナンス体制強化に係る費用の増加等により減益。

(単位:百万円)

社名		売上高	前期比	営業利益	前期比	当期純利益	前期比
単体	長瀬産業	441,849	104%	2,864	96%	5,901	89%
製造会社	林原	24,304	96%	4,987	88%	4,704	71%
	ナガセケムテックス	26,130	99%	2,406	88%	1,564	113%
	Pac Tech(欧州)	3,411	141%	418	89%	341	88%
	製造会社計(注)	94,108	105%	6,975	78%	4,796	73%
国内販売会社	ナガセプラスチック	32,790	113%	465	153%	258	161%
	ナガセビューティケア	5,537	104%	257	180%	137	200%
	ナガセケミカル	16,452	104%	205	104%	110	99%
	国内販売会社計(注)	86,349	108%	1,503	143%	797	129%
海外販売会社	長瀬香港有限公司	63,465	110%	1,571	149%	1,362	170%
	ナガセタイランド	32,699	110%	1,008	104%	803	110%
	上海華長貿易有限公司	29,480	132%	794	106%	650	113%
	海外販売会社計(注)	320,425	116%	6,530	127%	5,835	128%

※注) 各カテゴリの合計は、対象会社の単純合算値であり、連結決算数値と一致いたしません。

## ■ 自己資本比率が2.6pt上昇し49.5%へ(前期末時点46.9%)

資産			負債及び純資産 (単位:億円)				
	13/03	14/03	増減額		13/03	14/03	増減額
<b>流動資産</b>	<b>3,057</b>	<b>3,063</b>	<b>+6</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,658</b>	<b>1,636</b>	<b>△21</b>
現金・預金	466	349	△117	支払手形・買掛金	1,079	1,050	△29
受取手形・売掛金	1,960	2,029	+69	短期借入金	354	354	△0
棚卸資産	518	574	+55	その他	223	232	+8
その他	111	109	△2	<b>固定負債</b>	<b>831</b>	<b>826</b>	<b>△5</b>
<b>固定資産</b>	<b>1,809</b>	<b>1,917</b>	<b>+107</b>	長期借入金	326	271	△54
有形固定資産	609	639	+29	社債	300	300	—
無形固定資産	552	530	△22	退職給付引当金(退職給付に係る負債)	102	118	+15
投資・その他の資産合計	647	748	+100	その他(繰延税金負債等)	102	135	+33
投資有価証券	568	662	+94	<b>負債合計</b>	<b>2,489</b>	<b>2,462</b>	<b>△26</b>
その他	78	85	+6	<b>純資産</b>	<b>2,378</b>	<b>2,518</b>	<b>+140</b>
				株主資本	2,117	2,193	+75
				その他の包括利益累計額	167	273	+106
				為替換算調整勘定	△12	22	+34
				その他有価証券評価差額金	179	247	+67
				その他	△0	3	+3
				新株予約権	0	—	△0
				少数株主持分	92	51	△40
<b>資産合計</b>	<b>4,867</b>	<b>4,981</b>	<b>+113</b>	<b>負債・純資産</b>	<b>4,867</b>	<b>4,981</b>	<b>+113</b>

- 利益創出により営業活動によるキャッシュ・フローは+127億円となったが、設備投資等による投資支出や、長期借入金の返済等による財務支出により、現金および現金同等物は121億円の減少

## キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	14/03	主な内訳	13/03
営業活動によるキャッシュ・フロー	+127	税前利益+183 減価償却費+86 のれん償却+16 減損損失+13 運転資金▲117 法人税等▲63	+185
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲141	有形固定資産の取得▲101 投資有価証券の取得▲33 無形固定資産▲16	▲95
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲118	長期借入金返済▲104 配当金支払▲34	+11
現金および現金同等物に係る換算差額	+11		24
現金および現金同等物の増加額(▲減少額)	▲121		+126
現金および現金同等物の期首残高	+458		+285
その他の変更による影響額 (新規連結および決算期変更に伴う増減)	+1		+46
現金および現金同等物の期末残高	+338	日本+152 グレーターチャイナ+118 欧州+14	+458

**2015年3月期 業績見通し**

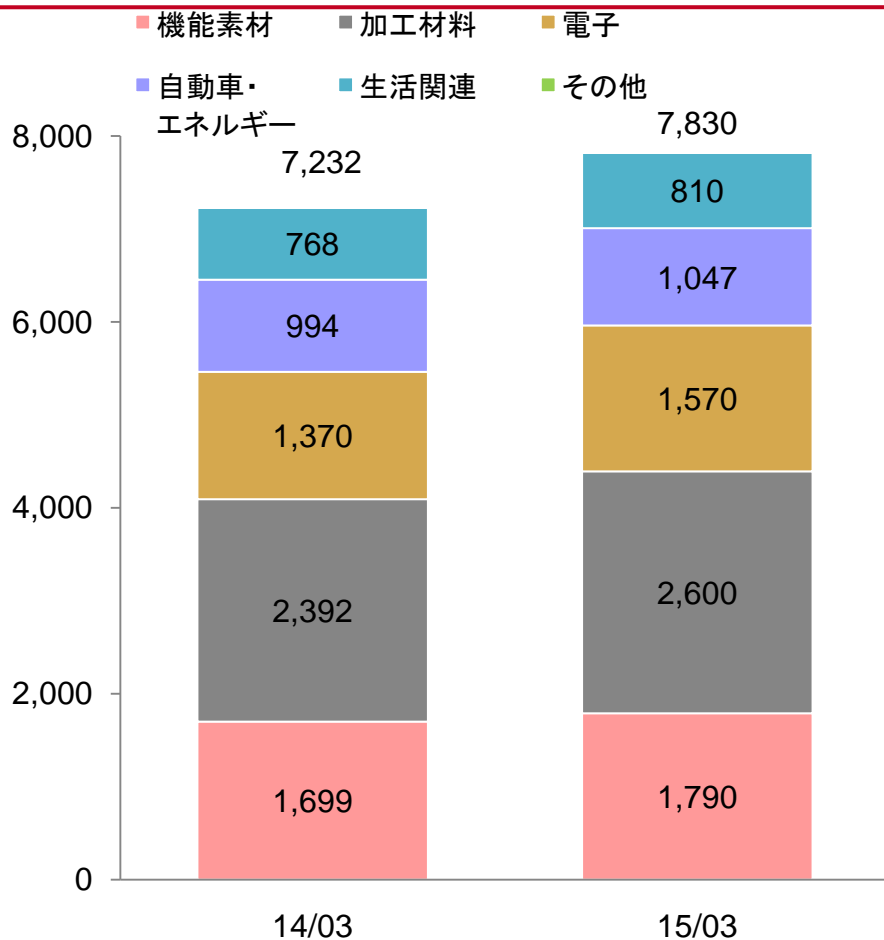
- 特に加工材料および電子セグメントにおいてアジアを中心に売上が増加
- 赤字子会社の収益改善を図る

(単位:億円)

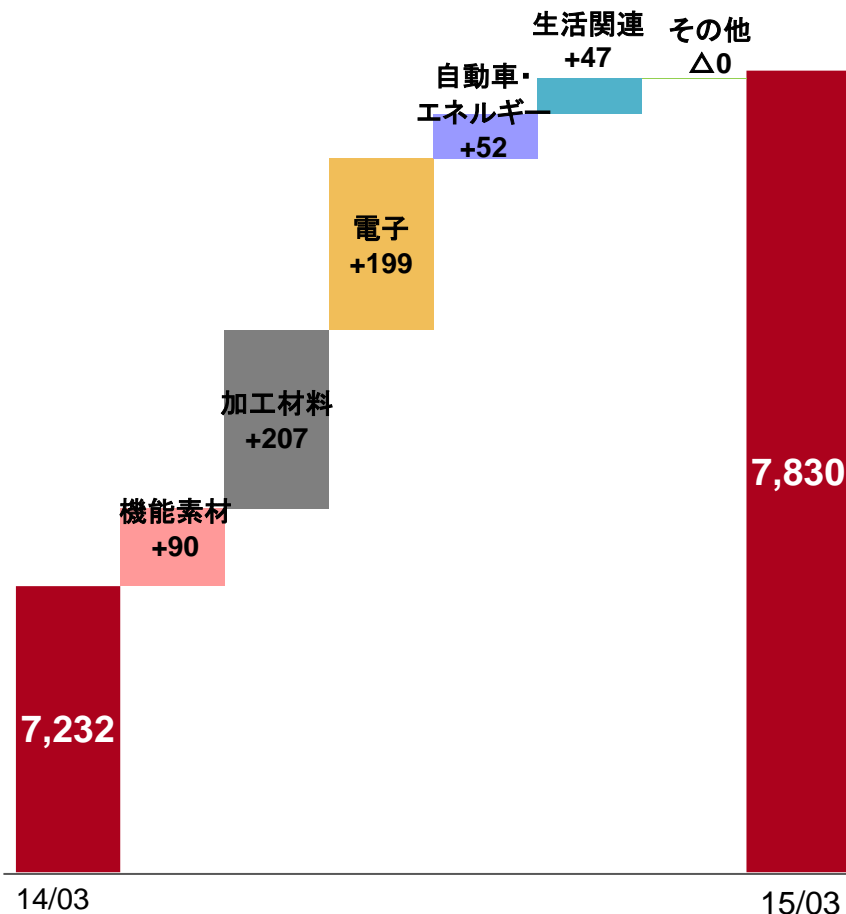
	14/03実績	15/03見通し	増減額	前期比
売上高	7,232	7,830	+597	108%
売上総利益	889	947	+57	107%
<利益率>	12.3%	12.1%	—	—
販売管理費	731	757	+25	104%
営業利益	157	190	+32	120%
経常利益	179	215	+35	120%
当期純利益	116	142	+25	122%
為替レート	@100.5	@103.0	@2.5円安	—

- OA・家電用途向け樹脂販売が好調に推移
- スマホ・タブレット関連ビジネスが好調に推移

## セグメント別 売上高(億円)



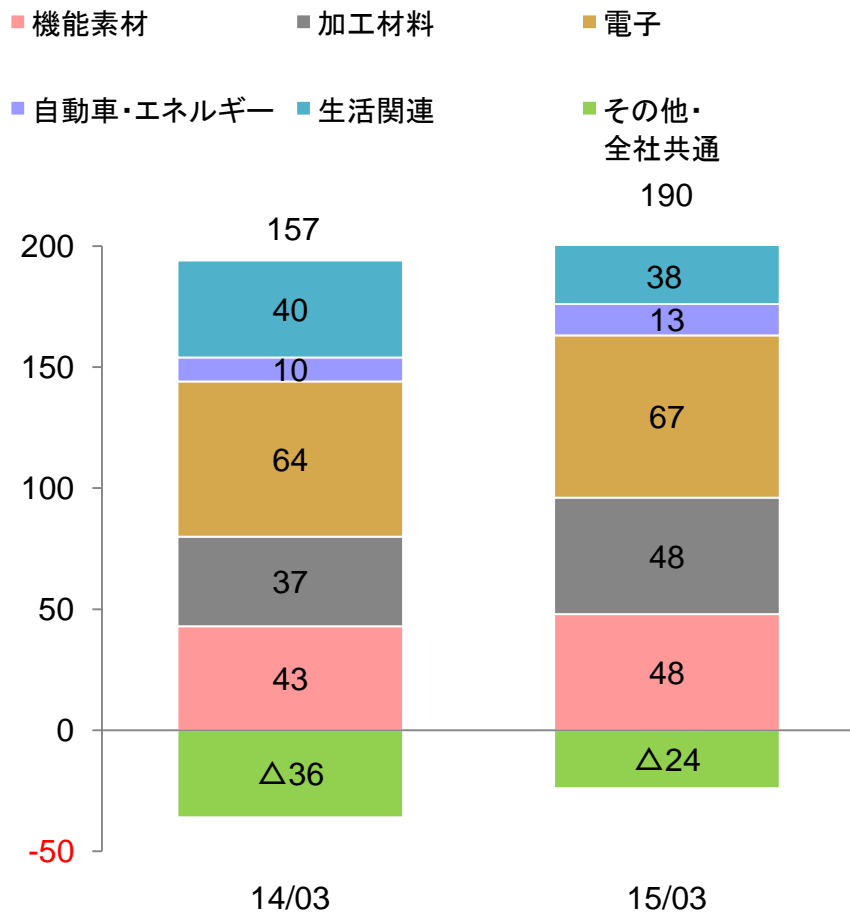
## セグメント別 売上高増減(億円)



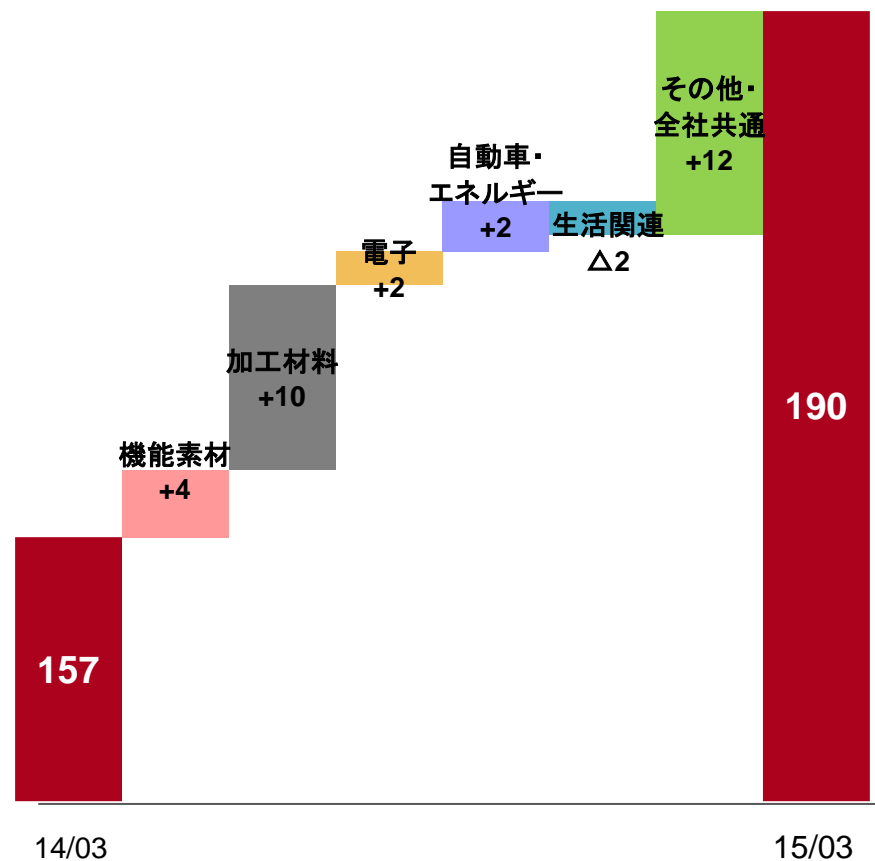
※14/03期実績は、15/03期からの組織変更を考慮した数値に組み替えております。  
 (電子セグメントに属していたネットワーク技術開発チームを自動車・エネルギーセグメントへ移管)

- 赤字子会社において収益改善
- 退職給付債務の数理計算上の差異の償却に伴う退職給付費用が改善

### セグメント別 営業利益(億円)



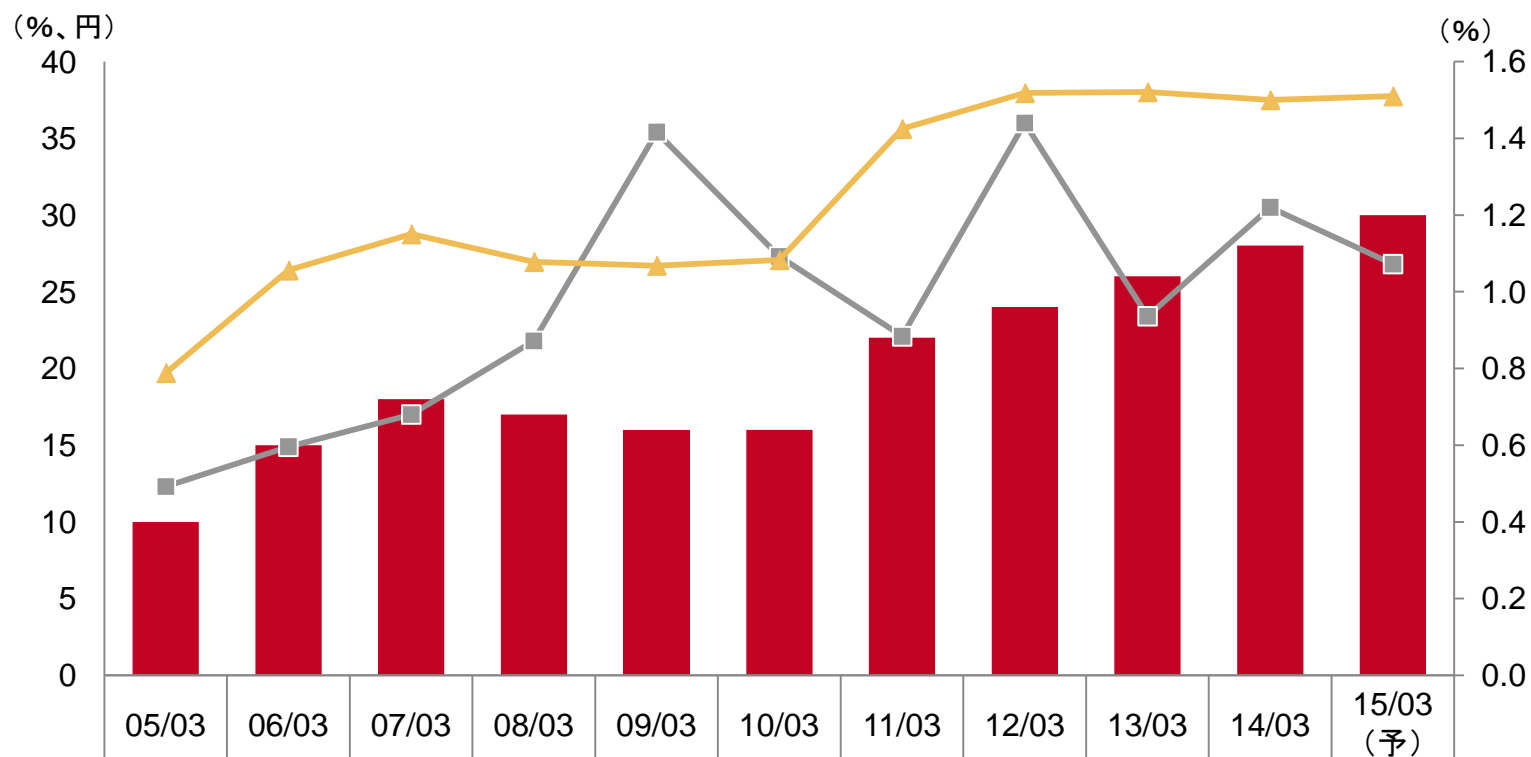
### セグメント別 営業利益増減(億円)



※14/03期実績は、15/03期からの組織変更を考慮した数値に組み替えております。  
 (電子セグメントに属していたネットワーク技術開発チームを自動車・エネルギーセグメントへ移管)



- 収益力の向上と企業体質の一層の充実増強
- 株主の皆様への安定配当を継続



■ 一株当たり配当金 (左メモリ)	10	15	18	17	16	16	22	24	26	28	30
■ 配当性向 (左メモリ)	12.3	14.9	17.0	21.8	35.4	27.3	22.1	36.0	23.4	30.5	26.8
▲ DOE (右メモリ)	0.79	1.06	1.15	1.08	1.07	1.08	1.42	1.52	1.52	1.50	1.51

中期経営計画の進捗

## ■ 中期経営計画の最終年度における営業利益は目標から大きく乖離する見通し

### 【実績および見通し値】

	2012年度実績	2013年度実績	2014年度見通し	2014年度目標	差額
売上高	6,662億円	7,232億円	7,830億円	8,000億円	170億円
営業利益	155億円	157億円	190億円	300億円	110億円
ROE	6.5%	4.9%	5.6%	8.0%	▲2.4%

### 主な要因

グループ製造会社の収益性

グローバル展開の分野・地域間での展開格差

新規事業の立ち上がりの遅れ

## 【重点分野における事業強化】

### 1. バイオ関連技術を活用した分野

→事業の柱(林原)を持ち、今後引き続き強化していくステージ

- ・林原製品の海外での販売体制の構築、代理店政策の見直しによる新規顧客の開拓
- ・ナガセR&Dセンターの研究対象をバイオ技術の基盤技術開発と同技術の活用による製品・サービス開発に注力

### 2. 環境・エネルギー関連技術を活用した分野

→事業の核を模索しているステージ

- ・太陽光発電のシステム販売は市場拡大により増加
- ・キャプテックスのリチウム2次電池モジュールは市場・用途に合わせカスタマイズした開発を加速

### 3. エレクトロニクス関連技術を活用した分野

→事業の核はあり、次の核が必要なステージ

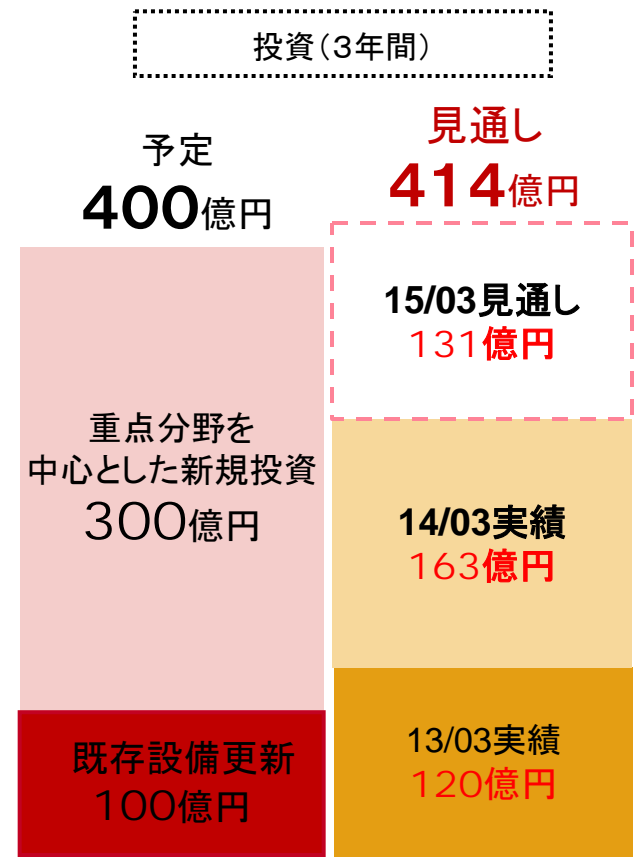
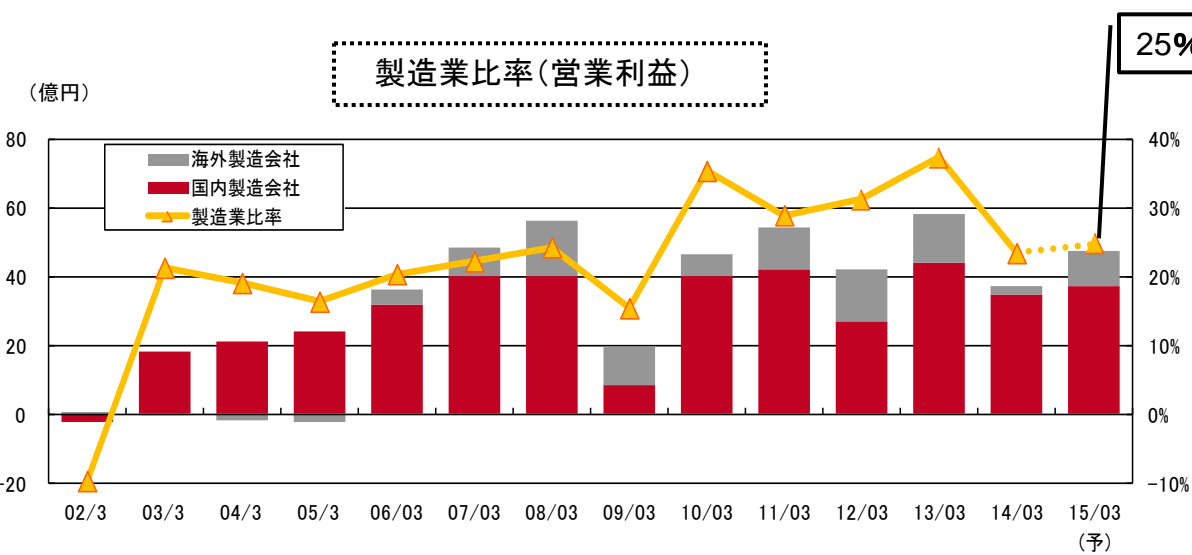
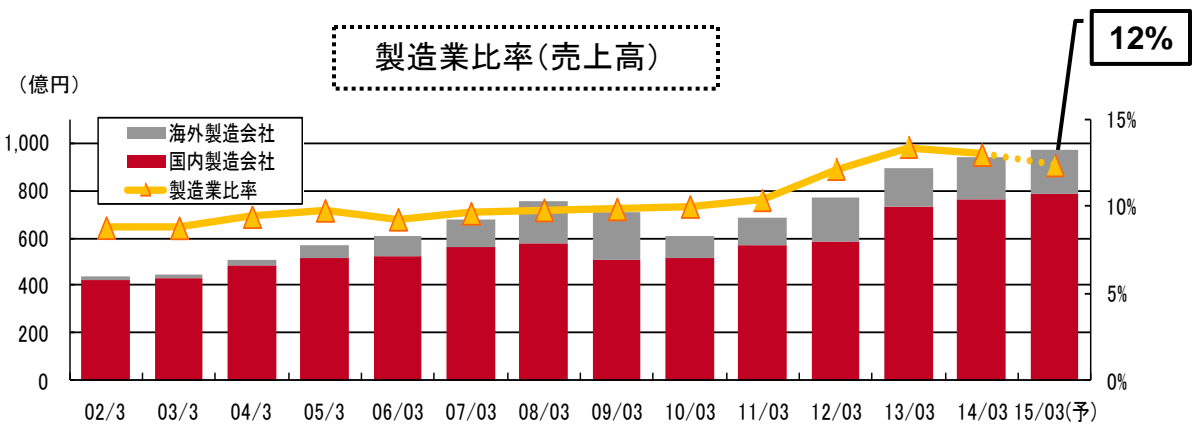
- ・スマートフォン・タブレット端末向けにグローバルな提案・調達活動により部材販売が好調に推移
- ・中国の長瀬精細化工(無錫)有限公司にて研究開発棟が稼働開始

## 【運営基盤の強化】

- ・「投資ガイドライン」の運用を通じ、投資の質の向上を図るとともに、不採算事業から撤退
- ・海外現地法人に新基幹システムを順次導入し、連結運営体制を強化
- ・グローバル人材育成

研修制度を充実させるとともに、国内外グループ会社の多様化する事業に対応するため千駄ヶ谷にナガセグローバル人材開発センターを設立(BCPにも対応)

製造機能、研究開発機能、技術・情報力、グローバルネットワークを強化する投融資の実行により、独自性・優位性を創出し、事業の質の向上と企業価値の向上を図っております。

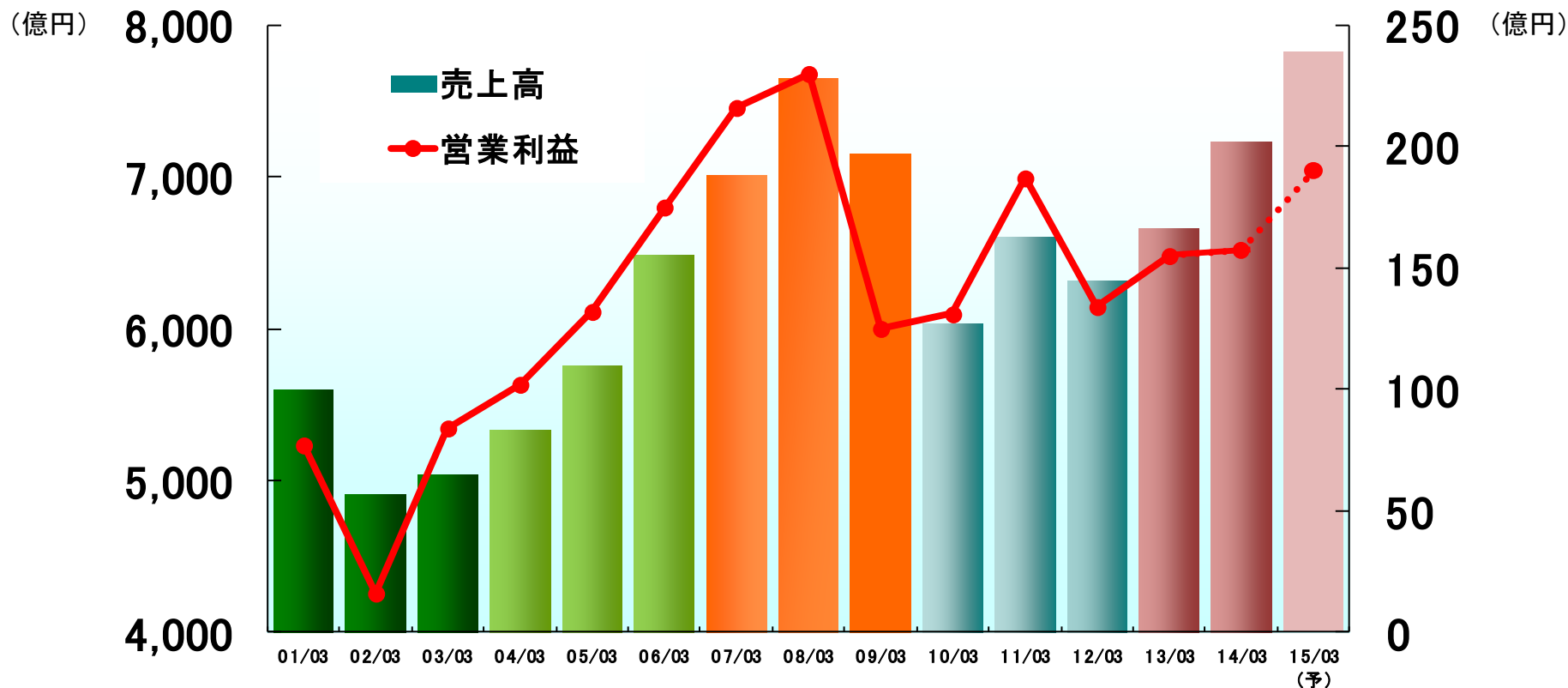


### Change-S2014



投資額

←202億円→	←237億円→	←277億円→	←1,074億円→	←414億円→
---------	---------	---------	-----------	---------



(参考資料)セグメント別概況

## ＜所在地別売上高・営業利益＞

(億円)

	14/03期		15/03期		
	通期実績	前期比	通期見通し	前期比	
売上高	国内	1,668	106%	1,766	106%
	海外	438	92%	463	106%
	連結調整	▲ 407	-	▲ 438	-
	合計	1,699	102%	1,790	105%
営業利益	国内	36	95%	39	106%
	海外	7	198%	9	138%
	連結調整	▲ 0	-	▲ 0	-
	合計	43	99%	48	111%

※上記数値は、所在地別の連結会社数値の合算になります。  
地域間連結消去を加味していない為、連結調整項目にて調整しております。

## 2014年3月期 実績

## 売上高

1,699億円(V102%)

- ◆機能化学品事業は、中国での日系自動車メーカーの生産回復や国内住宅関連需要を受け、ウレタン原料や塗料原料の売上が増加したこと等により増収
- ◆スペシャリティケミカル事業は、特殊エポキシ樹脂の輸出は好調だったが、フッ素材料及び電子材料用原料販売が低調に推移したこと等により減収

## 営業利益

43億円(V99%)

- ◆製造子会社の減益等により前年並み

## 2015年3月期 見通し

- ◇国内は、自動車関連や塗料業界で消費増税特需の反動があるが堅調
- ◇海外は、中国系顧客への販売が伸長
- 全体で増収増益となる見通し



## ＜所在地別売上高・営業利益＞

(億円)

	14/03期		15/03期		
	通期実績	前期比	通期見通し	前期比	
売上高	国内	1,584	102%	1,651	104%
	海外	1,429	122%	1,624	114%
	連結調整	▲ 621	-	▲ 675	-
	合計	2,392	112%	2,600	109%
営業利益	国内	18	117%	20	114%
	海外	18	103%	27	152%
	連結調整	+0	-	▲ 0	-
	合計	37	117%	48	130%

※上記数値は、所在地別の連結会社数値の合算になります。  
地域間連結消去を加味していない為、連結調整項目にて調整しております。

## 2014年3月期 実績

## 売上高

2,392億円 (V112%)

- ◆色材事業は、顔料・添加剤および情報印刷関連材料の売上の増加等により増収
- ◆OA・家電用途関連事業は、国内及び北東アジア・東南アジアにおける樹脂販売の増加等により増収
- ◆機能性フィルム・シート及び樹脂成型品関連事業は、液晶テレビ反射板用材料およびゲーム機向け反射防止シート等の売上減少等により減収

## 営業利益

37億円 (V117%)

- ◆売上が増加したことや、製造子会社の収益の改善等により増益

## 2015年3月期 見通し

- ◇国内は樹脂販売が増加、加えて製造子会社が収益改善
- ◇海外におけるOA・家電向け樹脂販売が好調に推移
- 全体で増収増益となる見通し  
(特に北東アジア、東南アジアが好調に推移)

## ＜所在地別売上高・営業利益＞

(億円)

	14/03期		15/03期		
	通期実績	前期比	通期見通し	前期比	
売上高	国内	1,340	105%	1,614	120%
	海外	760	108%	849	112%
	連結調整	▲ 730	-	▲ 894	-
	合計	1,370	110%	1,570	115%
営業利益	国内	43	128%	42	99%
	海外	22	68%	27	121%
	連結調整	▲ 1	-	▲ 2	-
	合計	64	100%	67	104%

※上記数値は、所在地別の連結会社数値の合算になります。  
地域間連結消去を加味していない為、連結調整項目にて調整しております。(のれん償却含む)

※14/03期は15/03期からの組替変更を考慮した数値になります。  
(電子セグメントに属していたネットワーク技術開発チームを自動車・エネルギーセグメントへ移管)

## 2014年3月期 実績

## 売上高

1,370億円 (V110%)

- ◆電子化学品事業は、半導体用途の変性エポキシ樹脂関連の売上が減少したが、液晶パネル製造用薬液等の売上の増加等により増収
- ◆電子資材事業は、タッチパネル用部材の売上が増加したが、LED関連部材などの売上の減少等により売上は前年並み

## 営業利益

60億円 (V94%)

- ◆北東アジアにおけるガラス薄型加工事業等の不振等により減益

## 2015年3月期 見通し

- ◇国内は、薬液管理装置販売が減少するも偏光板ビジネスが伸長
  - ◇海外は、ガラス薄型加工ビジネスが復調
- 全体で増収増益となる見通し

## ＜所在地別売上高・営業利益＞

(億円)

	14/03期		15/03期		
	通期実績	前期比	通期見通し	前期比	
売上高	国内	519	109%	511	98%
	海外	645	128%	716	111%
	連結調整	▲ 170	-	▲ 180	-
	合計	994	120%	1,047	105%
営業利益	国内	▲ 6	-	▲ 5	-
	海外	17	135%	18	122%
	連結調整	▲ 0	-	▲ 0	-
	合計	10	135%	13	126%

※上記数値は、所在地別の連結会社数値の合算になります。  
 地域間連結消去を加味していない為、連結調整項目にて調整しております。  
 ※14/03期は15/03期からの組替変更を考慮した数値になります。  
 (電子セグメントに属していたネットワーク技術開発チームを自動車・エネルギーセグメントへ移管)

## 2014年3月期 実績

## 売上高

994億円 (V120%)

◆自動車関連事業は、国内では、軽・小自動車向けの売上が増加したことや、中国及び北米など海外における売上の増加等により増収

◆エネルギー事業は、太陽光発電関連商材やリチウムイオン電池向け商材の売上の増加等により増収

## 営業利益

13億円 (V181%)

◆売上の増加に伴い増益

## 2015年3月期 見通し

◇国内は、製造子会社の収益改善  
 ◇海外は、自動車関連で北東アジアが引き続き伸長  
 インドネシアは伸びるが東南アジア全体ではは前年並  
 →全体で増収増益となる見通し

## ＜所在地別売上高・営業利益＞

(億円)

	14/03期		15/03期		
	通期実績	前期比	通期見通し	前期比	
売上高	国内	953	107%	985	103%
	海外	109	135%	140	128%
	連結調整	▲ 294	-	▲ 310	-
	合計	768	101%	816	106%
営業利益	国内	67	92%	67	101%
	海外	3	-	1	35%
	連結調整	▲ 30	-	▲ 30	-
	合計	40	98%	38	95%

※上記数値は、所在地別の連結会社数値の合算になります。  
地域間連結消去を加味していない為、連結調整項目にて調整しております。(のれん及び技術資産償却含む)

## 2014年3月期 実績

## 売上高

768億円 (V101%)

- ◆ライフ&ヘルスケア製品事業は、食品素材分野において国内・海外ともにトレハロース等を中心に堅調に推移し、トイラー分野での原料販売が増加したこと等により増収
- ◆ビューティケア製品事業は、健康食品や美白化粧品の新商品の販売が好調だったこと等により増収

## 営業利益

40億円 (V98%)

- ◆林原ビジネスに係る先行投資等による一般管理費の増加等により減益

## 2015年3月期 見通し

- ◇国内外ともに林原製品(機能性糖質)の販売が好調
- ◇林原ビジネスに係る海外マーケティング活動経費等  
海外販売体制構築に係る費用増加
- ◇医薬中間体の販売不振  
→全体で増収減益となる見通し

# 知恵をビジネスにする技術・情報企業

長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2014年5月27日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。